

# 「70歳まで働ける企業」推進プロジェクト

## 背景

- 健康寿命が男女とも70歳超(男性72.3歳、女性77.7歳(2002年現在))
- 国民全体の7割前後が「高齢者」を「70歳以上」と認識
- 5年後の2012年にはいわゆる団塊の世代が65歳に到達
- 再チャレンジ会議中間とりまとめ(平成18年5月30日)において、「2015年に60歳以上の労働力人口を160万人増に」を目標、そのための具体的施策として「70歳まで働ける企業」の実現

## 施策の方向

意欲と能力があれば「高年齢者が70歳まで働ける企業」の実現

## 具体的施策

- 「70歳まで働ける企業」推進プロジェクト会議を創設し、各地域で開催するシンポジウム等を通じた、国民への普及・浸透の推進((独)高齢・障害者雇用支援機構で実施)
- 70歳まで働ける企業の先進事例を収集し、「70歳まで働ける企業100選」を作成し、先進事例やノウハウを提供((独)高齢・障害者雇用支援機構で実施)
- 「70歳雇用支援アドバイザー(仮称)」を育成し、企業における賃金・人事処遇制度や能力開発システムの開発を支援((独)高齢・障害者雇用支援機構で実施)
- 65歳までの継続雇用制度を導入した事業主に対し、対象年齢を更に70歳まで上げるための個別相談やセミナーを実施(事業主団体等へ委託)